

フック交換手順

(P26、B32、BV-38、SV-38 用ソフトフックの場合)

古いフックを外します。
フックが劣化により硬化している場合、ドライヤーの熱でフックを温めて柔らかくしてから作業します。
(ドライヤーの熱を補聴器本体に当てないよう注意)



右手で補聴器をしっかり持つ。
(親指と人差し指でフックに近い所を掴むように)



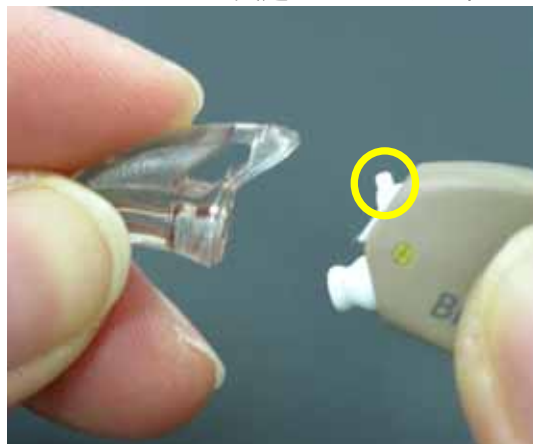
左手で補聴器のフックを持ちます。左手の親指と中指でフックを挟みます。左手の人差し指でフックの根元を上からしっかり押さえます。



フックの根元を支点に、フックの先端を持ち上げるようにして、フックコネクションからフックを外します。



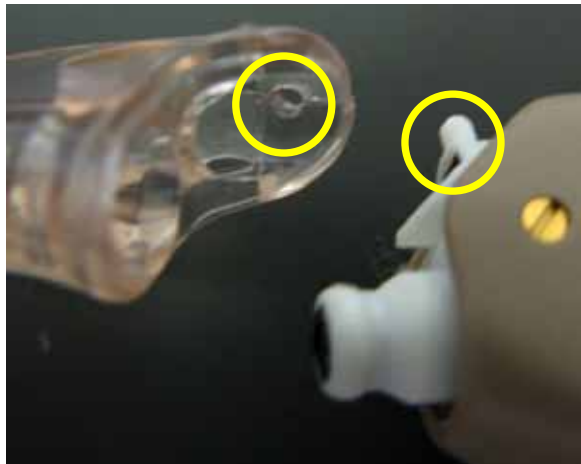
フックコネクションの突起からもフックを外します。



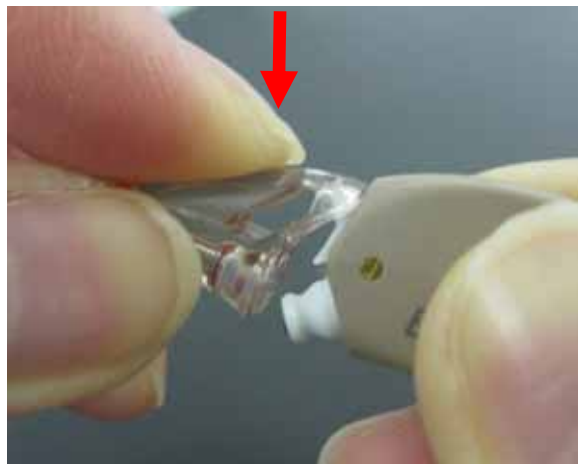
フックを外した状態です。



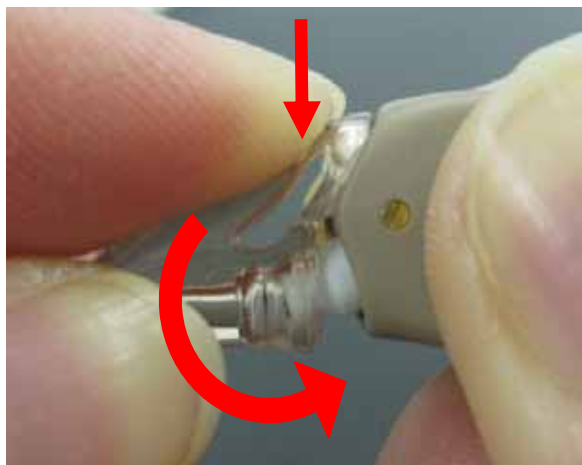
新しいフックを取り付けます。
まず、フック側の穴と、フックコネクシヨンの突起部分の位置を確認します。



フックを外すときと同様、補聴器とフックを両手でしっかり固定し、フックコネクシヨンの突起部分をフックの穴に差し込みます。



フックを上から押しながら、フックコネクシヨンの下側の突起部分に被せます。



フックコネクシヨンにフックをしっかりはめます。



フックと補聴器の間にすき間がなく、フックコネクシヨンにぐらつきがないことを確認します。



手順を誤るとフックや補聴器のハウジングを破損する場合があります。
交換の際は、必ずこの手順に従ってください。

ご不明な点がございましたら、技術品質保証部までお問い合わせください。